

男女共同参画に関する市民意識調査票

市民の皆さまには、日頃から市政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

都留市では、平成 18 年度から、「都留市男女共同参画推進計画～つるハートフルプラン～」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けたまちづくりを進めていますが、この計画が平成 27 年度をもって計画終了となります。

そこで、さらなる男女共同参画の推進のための新しい「第 3 期都留市男女共同参画推進計画」の策定にあたり、市民意識調査を実施します。

この調査は、市内にお住まいの 20 歳以上の方 1,000 人を無作為に選ばせていただきました。**無記名**で行いますので、お答えいただいた皆さまにご迷惑をおかけすることはございません。

ご多忙の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※お願い

1. あて名のご本人が、お答えになってください。（特別な事情等でご本人が記入できない場合は、ご本人の意思を尊重してご家族の方などが代わってご記入ください。）
2. お答えは、ボールペンや鉛筆などで、あてはまるものの番号に、ハッキリと○印をつけてください。
3. ご記入いただきました調査票は、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、5月8日（金）までに**、郵便ポストにご投函ください。
また、地域コミュニティセンターへお届けいただくか、お近くの職員へお渡しいただいても結構です。

※この調査に関するご質問などは、下記までお願いします。

都留市役所市民部 地域環境課 地域振興担当
電 話 43-1111（内線 175）
メー ル chiikishinkou@city.tsuru.lg.jp
F A X 43-5049

●男女の役割や家事・育児への取り組みについておたずねします。

問 1. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。

(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかといえば反対 | 5. 反対 | |

→問 2. 【1.賛成 2.どちらかといえば賛成 と答えた方にお聞きします】その理由にいちばん近いものは次のうちどれですか。(○は2つまで)

- | |
|----------------------------|
| 1. 妻が家庭を守る方が、子どもの成長などに良いから |
| 2. 両立しながら、妻が働き続けることは大変だから |
| 3. 夫が働く方が、多くの収入を得られると思うから |
| 4. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから |
| 5. 自分の両親も役割分担をしていたから |
| 6. その他（具体的に： _____) |

問 3. あなたが 1 日に行う家事（育児や介護を含む）の時間と、仕事（収入を得るための労働）の時間は、それぞれ平均どの位ですか。配偶者がいる方は、あなたの配偶者の時間についても、() 内にお書きください。

(数値を記入)

【あなた自身】

1 家事（1日平均）	() 時間 () 分
2 仕事（1日平均）	() 時間 () 分

【あなたの配偶者】 ※配偶者がいない方は無記入で結構です。

1 家事（1日平均）	() 時間 () 分
2 仕事（1日平均）	() 時間 () 分

問 4. あなたは「男女共同参画」について、どのくらい知っていますか。(○は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1. 言葉と意味の両方を知っている |
| 2. 言葉は知っている |
| 3. 知らない |

男女共同参画社会とは…

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」

(平成 11 年制定 男女共同参画社会基本法第 2 条)

●働き方についておたずねします。

問 5.【女性の方のみお答えください】あなたはどのように生きていきたいとお考えですか。またはお考えでしたか。(〇は 1 つ)

1. 結婚後もまたは子どもができて、職業を持ち続けたい
2. 子どもが産まれたら辞め、成長後再び職業を持ちたい
3. 結婚するまでは、職業を持ちたい
4. 子どもが産まれるまでは、職業を持ちたい
5. 特に職業は持ちたくない
6. その他(具体的に: _____)

→ 問 5-1.【1.~4.を回答された方にうかがいます】もしあなたが管理職になるように求められたら引き受けますか。(〇は 1 つ)

1. 引き受ける
 2. 引き受けない
- (その理由: _____)

問 6.【男性の方のみお答えください】あなたの配偶者(妻)にはどのようなことを望みますか。または望んでいましたか。(〇は 1 つ)

1. 結婚後もまたは子どもができて、職業を持ち続けてほしい
2. 子どもが産まれたら辞め、成長後再び職業を持ってほしい
3. 結婚するまでは、職業を持ってほしい
4. 子どもが産まれるまでは、職業を持ってほしい
5. 妻が職業を持つことを望まない
6. その他(具体的に: _____)

→ 問 6-1.【1.~4.を回答された方にうかがいます】もしあなたの妻が管理職になるように求められたら引き受けることを薦めますか。(〇は 1 つ)

1. 薦める
 2. 薦めない
- (その理由: _____)

問 7.【すべての方にうかがいます】女性が働き続けるためには、職場において何が必要だと思えますか。(〇は 2 つまで)

1. 短時間勤務制度やテレワーク(在宅勤務)などの柔軟な勤務形態
2. 管理職や男性従業員の女性が働くことへの理解
3. 男女の待遇の差の改善
4. 能力開発のためのセミナーの充実
5. 育児・介護休業制度の充実
6. その他(具体的に: _____)

問 8. 【すべての方にうかがいます】男性が「育児休暇」や「介護休暇」を取得することについて、どう思いますか。(〇は 1つ)

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1. 賛成する | 2. 反対する | 3. どちらともいえない |
|---------|---------|--------------|

問 9. 【男性の方にうかがいます】(職場で出産・育児・介護に直面した状況を想定して)あなたは「育児休暇」または「介護休暇」を取得したいと思いますか。または思ったことはありますか。(〇は 1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. したいと思うし、取得するつもりである |
| 2. したいと思い取得したことがある |
| 3. したいと思うが、取得はしないつもりである |
| 4. したいと思ったが、取得できなかった |
| 5. したいと思わない(思わなかった) |
| 6. わからない |

→ 問 9-1. 【3.したいと思うが、取得はしないつもりである 4.したいと思ったが、取得できなかったと答えた方にうかがいます】その理由は何ですか。(〇は 3つまで)

- | |
|-----------------------|
| 1. 仕事が忙しいから |
| 2. 休暇後、現職に復帰する保証がないから |
| 3. 休暇期間中の収入に不安があるから |
| 4. 職場の理解を得られないから |
| 5. 家族の理解を得られないから |
| 6. 代替要員の確保が困難だから |
| 7. 昇進・昇給の際に不利だから |
| 8. その他(具体的に：) |

●地域活動や仕事との関わりについておたずねします。

問 10. あなたは「ワーク・ライフ・バランス」について、どのくらい知っていますか。
(○は1つ)

1. 言葉と意味の両方を知っている
2. 言葉は知っている
3. 知らない

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは…
働く人が仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。

問 11. あなたは、現在、次にあげるような地域活動に、どのくらい参加していますか。
(ア.~オ.のそれぞれについて、1.~3.までのうち、1つに○)

	1	2	3
	積極的に参加	たまに参加	ほぼ不参加
ア. 町内会・自治会・商店会などの地域活動	1	2	3
イ. スポーツ・文化・趣味などのサークル活動	1	2	3
ウ. 父母会やPTAなどの活動	1	2	3
エ. 市民活動やボランティア活動	1	2	3
オ. 市民講座や学習会などの活動	1	2	3

問 12. 仕事と、家庭生活または地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・つきあい等）との関わりについて、あなたの理想にいちばん近いものは何ですか。(○は1つ)

1. 家庭生活または地域・個人の生活よりも、仕事に専念したい
2. 家庭生活または地域・個人の生活にも携わるが、あくまで仕事を優先させたい
3. 家庭生活または地域・個人の生活と仕事を同じように両立させたい
4. 仕事にも携わるが、家庭生活または地域・個人の生活を優先させたい
5. 仕事よりも、家庭生活または地域・個人の生活に専念したい
6. わからない

問 13. それでは、**現在の状況では**、あなたは次のどれに当てはまりますか。(○は**1つ**)

1. 家庭生活または地域・個人の生活よりも、仕事に専念している
2. 家庭生活または地域・個人の生活にも携わるが、あくまで仕事を優先させている
3. 家庭生活または地域・個人の生活と仕事を同じように両立させている
4. 仕事にも携わるが、家庭生活または地域・個人の生活を優先させている
5. 仕事よりも、家庭生活または地域・個人の生活に専念している
6. わからない

問 14. 「ワーク・ライフ・バランス」の実現のために、**行政に**どのようなことを望みますか。(○は**2つまで**)

1. 事業所への働きかけによる事業主の意識改革
2. 優良事業所の情報提供や、好事例の表彰制度などによる取り組みの支援
3. 育児サービスや学童保育などの子育て支援の充実
4. 男性の家事や育児・介護等の講座や情報提供
5. 介護施設やサービスの充実
6. その他（具体的に： _____)

問 15. 現在、人口減少対策として、子育て世代の男女間の役割分担や働き方の改革が求められています。子育て世代が理想の子ども数を持てるようにするために必要なことは何だと思いますか。(○は**2つまで**)

1. 保育所など、子どもを預け、夫婦がともに働き続けられる環境の整備
2. 男女間の家事や育児に対する固定的な役割分担意識の解消
3. 多様な働き方の導入など、職場における仕事と育児などの両立支援制度の充実
4. 研修等による男性の家事や育児などの技術支援
5. 女性の継続就労やキャリアアップ支援
6. その他（具体的に： _____)

●男女の人権についておたずねします。

問 16. 日常生活において、あなたは以下のようなハラスメントを受けたことがありますか。
(ア.イ.のそれぞれについて、1.~3.までのうち、**1つに○**)

	1	2	3
	ある	ない	わからない
ア. セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
イ. マタニティ・ハラスメント または パタニティ・ハラスメント	1	2	3

セクシュアル・ハラスメントとは…

職場などにおける性的な嫌がらせのこと。

マタニティ・ハラスメントとは…

働く女性が妊娠・出産を理由として職場で受ける精神的・肉体的嫌がらせのこと。

パタニティ・ハラスメントとは…

男性が育児参加する権利や機会を侵害する言動や嫌がらせのこと。

問 17. あなたは夫婦間（事実婚含む）や恋人の間での、DV（ドメスティック・バイオレンス）について見聞きしたことがありますか。（当てはまるものすべてに○）

1. テレビや新聞、近所での噂などで知っている
2. 身近な人に当事者がいる
3. 身近で被害にあった人から相談を受けた
4. 自分が直接、被害の経験をした
5. その他（具体的に： _____)

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは…

配偶者や恋人に対する乱暴な振る舞いのこと。

※DVに関する相談は、市健康子育て課で受け付けています。

☎46-5113（年末年始を除く 平日 9時～17時）

問 17-1. 【4.自分が直接、被害の経験をした と回答した方にうかがいます】あなたは次のうちどのような被害にあいましたか。
（ア～エのそれぞれについて、1～3までのうち、1つに○）

	1	2	3
	全くない	時々あった	何度もあった
ア. なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
イ. あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動を受けた	1	2	3
ウ. 人格を否定されるようなひどい暴言を受けた	1	2	3
エ. いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

問 17-2. 【4.自分が直接、被害の経験をした と回答した方にうかがいます】あなたはこれまで、その相手の行為によって、ケガをしたり、医師の治療を受けたりしましたか。(当てはまるものすべてに○)

1. ケガをして医師の治療を受けた
2. ケガをして医師の治療が必要となる程度だったが、治療は受けなかった
3. ケガをしたが、医師の治療が必要とならない程度だった
4. ケガはしなかった

問 17-3. 【4.自分が直接、被害の経験をした と回答した方にうかがいます】あなたはこれまで、その相手からうけた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(当てはまるものすべてに○)

1. 友人・知人・家族などに相談した
2. 警察に連絡・相談した
3. 女性相談所など県の機関に相談した
4. 市町村（福祉事務所等）に相談した
5. 民間の機関（弁護士会、民間シェルターなど）に相談した
6. その他（具体的に： _____)

●最後に、今まで教えていただいたことを統計的に分析するために必要な事項をおたずねします。次のア～ケの項目ごとに、1つずつ選んで番号を○で囲んでください。

ア. あなたの性別は。

1. 男
2. 女

イ. あなたの年齢は。

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳代
6. 70歳代
7. 80歳代以上

ウ. あなたのお住まいの地区は。

1. 上谷
2. 中谷
3. 下谷
4. 三吉
5. 開地
6. 東桂
7. 宝
8. 禾生
9. 盛里

エ. あなたの主たる職業は何ですか。いちばん近いものをお答えください。

1. 法人・団体役員
2. 自営業主（農林漁業、商工サービス業、自由業、家庭内職者など）
3. 家族従業者
4. 雇用者（常勤）※出産休暇、育児休業中も含まれます。
5. 雇用者（パート、アルバイト、嘱託その他）

6. 主婦・主夫
7. 無職
8. 学生
9. その他

オ. あなたは結婚（事実婚含む）されていますか。

1. 未婚
2. 既婚（配偶者がいる）
3. 離別、死別

→ カ. 【オで2既婚（配偶者がいる）を選んだ方にうかがいます】あなたのご家庭は共働きですか。

1. 共働きである
2. 共働きではない

キ. あなたの家族構成は次のうちどれですか。

1. 単身世帯（一人暮らし）
2. 一世代世帯（夫婦だけ）
3. 二世帯世帯（親と子）
4. 三世帯世帯（親と子と孫）
5. その他

ク. あなたには、お子さんがいますか。

1. いる
2. いない

→ ケ. 【クで1.いるを選んだ方にうかがいます】一番下のお子さんは次のうちどれに当てはまりますか。

1. 0～2歳
2. 3～5歳
3. 小学校1～3年生
4. 小学校4～6年生
5. 中学生
6. 高校生
7. 専門学校・短大・大学生等
8. 社会人

●調査にご協力いただき、どうもありがとうございました。本調査のテーマについて他に
ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。
